

平成 21 年 4 月 23 日

各 位

会社名	キヤノン株式会社
代表者名	代表取締役会長 御手洗 富士夫
コード番号	7751
上場取引所(所属部)	東京、大阪、名古屋(以上第一部) 福岡、札幌
問合せ先	常務取締役経理本部長 大澤 正宏 (TEL.03-3758-2111)

### 子会社(キヤノンマシナリー株式会社)の業績予想の修正に関するお知らせ

キヤノン株式会社は、子会社であるキヤノンマシナリー株式会社(コード番号 6344、大証二部)が平成 21 年 1 月 27 日に公表した平成 21 年 12 月期(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)の通期業績予想を別添資料の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件によるキヤノン株式会社の連結業績予想の変更はありません。

以上

平成 21 年 4 月 23 日

各 位

滋賀県草津市南山田町字縄手崎 8 5 番地  
キャノンマシナリー株式会社  
代表取締役社長 高 崎 勲  
(コード 6344 大証二部)  
問合せ先 取締役経営企画部長 菊次 正純  
(TEL 077-566-1811)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 1 月 27 日に公表いたしました平成 21 年 12 月期 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日) の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 12 月期 連結通期業績予想数値の修正

(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 1 月 27 日発表)	百万円 34,000	百万円 1,830	百万円 1,570	百万円 910	円 銭 112.97
今回修正予想 (B)	26,000	650	500	460	57.11
増減額 (B - A)	△8,000	△1,180	△1,070	△ 450	△55.86
増 減 率 (%)	△ 23.5	△ 64.5	△ 68.2	△ 49.5	△ 49.4
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	36,541	4,198	4,030	2,377	296.14

#### 2. 平成 21 年 12 月期 個別通期業績予想数値の修正

(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 1 月 27 日発表)	百万円 34,000	百万円 1,760	百万円 1,520	百万円 900	円 銭 111.73
今回修正予想 (B)	26,000	650	500	530	65.80
増減額 (B - A)	△8,000	△1,110	△1,020	△ 370	△45.93
増 減 率 (%)	△ 23.5	△ 63.1	△ 67.1	△ 41.1	△ 41.1
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	36,527	4,013	3,962	2,350	292.83

### 3. 修正の理由

世界同時不況の中、当社グループに関わる業界においては在庫調整が徐々に進み、電子部品などの生産数量が上向き傾向にあります。設備投資の抑制は依然厳しい状況が継続しております。特に、半導体業界は先行き不透明感が強く、設備投資の低迷は長期化が予想されます。事務機器関連や小型二次電池関連といったF Aシステム事業においても事業環境が厳しく、設備投資の先送りが見られ、受注が減少しております。このように当初見込んでいました受注が確保できないことから、2009年1月27日に発表いたしました通期業績予想を下方修正いたします。

なお、当社グループといたしましては、厳しい現状を乗り越えるために次の事項に取組み、事業体質の強化を図っております。

- ①2009年4月1日付で「ものづくり研修センター」を設置し、部品加工、組立など複数の技能を保有させる多能工化を推進いたします。これにより、人的リソースを活用した内製化の強化を推進してまいります。
- ②生産革新活動の強化により、品質強化による機会損失の削減、生産性向上によるコスト削減を推進いたします。
- ③来るべきチャンスに備えて、研究・開発テーマに継続して取組み、目標とする成果を計画どおりに生み出してまいります。新事業を目指して取り組んでおります「フェムト秒レーザー加工」「極低酸素分圧」などについては、新ビジネスモデルを構築してまいります。

上記取組みの成果を早期に生み出し、厳しい事業環境を乗り越える事業体質を構築してまいります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上